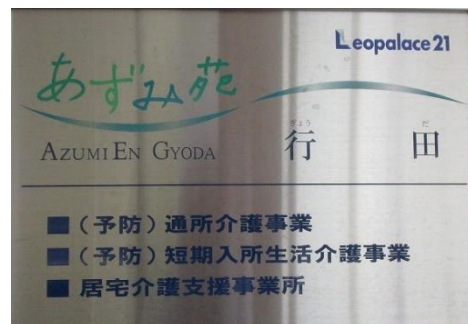


レオパレス21 「あずみ苑行田」にて公演 (第77回)

8月23日行田市門井にある「あずみ苑行田」5月8日以来二度目の公演を行って来ました。

台風20号の影響で強い雨が降ったり太陽が出たりのいそがしい天候でした。6月、7月と屋外での公演が天候悪く中止となり6人全員そろって久しぶりの公演です。



玄関前には「納涼祭、南京玉すだれ」の飾り付けがありました。また公演場所の背景には、「ようこそ、いきがい熊谷座様」の歓迎ボードが掲げてあり、歓迎して頂く気持ちがひしひしと感じられました。

デイサービス利用者 30 人程、職員十数名の方々の前、座長の挨拶、そして今回セッティングのIさんの挨拶。ここはIさんの生まれ故郷の隣町、知人の方からの再度の公演依頼となりました。



まずは、いつもの玉すだれ「基本」です。阿弥陀様からの五輪マークには「ウワーワー」と大歓声、大拍手です。最後の垂れやなぎも「きれい、すごい」と大歓声、キラキラモールとハデハデ扇子もバッチリです。

続いて『ああ人生に涙あり』、フルメンバーで、「この印籠が目に入らぬか！」最後のポーズもぴったりに決まりました。







『きよしのズンドコ節』そして『麦畑』などは、皆様良くご存知の曲で、めくり台を見ては歓声をあげてくれます。

おかげで、座員は、多少のミスも笑顔でやり過ごし、久しぶりの全員参加、大成功でした。

最後のハートマークには、終わった後、「もう一度ハート作って下さい」とのリクエストがあり我々も初めてのことでしたが、喜んでハート×2です。



続いてIさん、Kさんのマジックです。お金が出てきたりなくなったり、紐のマジックや新聞紙の中に入れた水がこぼれないだけでなく、赤い水に変わって出てきたのには皆さんビックリ！！



ネクタイを縛り首も絞めずにすっと外れたり、赤い玉がなくなったり出てきたり、時計の裏・表の時間の違いに不思議、ふしぎ??全てのマジックに「なぜ? どうして? 不思議??」いつも好評ですね。







続いてダブル N さんのオカリナです。

「この広い野原いっぱい」と「四季の歌」の二曲を演奏しましたが、「四季の歌」の歌詞を大きな紙に書いて皆さんに見えるように掲示したお陰で、皆さんも一緒に歌い好評でした。



玉すだれのふれあいタイムでは皆さん触って形を作ったり喜んで下さいました。職員の方々も積極的にいろいろな形を作って楽しんでいただけました。



約1時間の公演でしたが、最後の挨拶の時、司会者の方よりアンコールの声があり、皆様からもアンコールの合唱で私達もビックリ！！

はじめての事などで、相談し「麦畑」を演じることになりました。職員の方々も音楽に合わせて、手スダレでの真似で“ハイ左、右、前、後ろ”と声を出して皆でノリノリで最後のハートまで真似て下さいました。

私達も乗せられ久しぶりに楽しんで演じられた一日でした。

帰る時職員の方より来年年明けの公演を依頼されて帰りました。

記：後藤 愛子

写真：中山 陽子